

クラウド型サービス事業に参入

業務効率化支援し建築・不動産業界の「技術革新」へ

ビル経営をアップデート

コンストラクションマネジメント大手の山下PMC(東京都中央区)が今春、2つのクラウド型サービス事業に乗り出した。3月に発表したのが、360度写真を活用して建物経営の効率化を実現するクラウド型プラットフォーム「b-platform®」、そして翌月には建物の自動規模算出と不動産事業収支の算出を連携させるクラウド型サービス「BEAMap®」だ。ビルオーナーにとっても管理運営や建替え時の検討などで大きく関与してくる。取締役専務執行役員・CIO(最高インベション責任者)の木下雅幸氏にこれら2つのサービスの開発経緯とこれからの戦略について聞いた。

2つのプラットフォーム 付加価値向上をサポート



山下PMC 取締役専務執行役員 木下 雅幸氏

山下PMCでは今年3月から4月にかけて、2つのクラウド型サービス事業をスタートいたしました。この2つは川原秀仁社長の著書『プラットフォームビジネスの最強法則』がきっかけのひとつとなつています。詳しい経緯と、この事業を指揮される想いを教えてください。

木下 今回、当社で発表しました「b-platform®」ならびに「BEAMap®」は山下PMCとして初めて取り組むクラウド型のビジネスになりました。双方に共通しているのは、

「今回の事業について、私は自身の思い入れもありました。約15年前、当時建築設計事務所

に在籍し、当時からいくつもの煩雑な業務について「自動化すること

ができるのではないかと考えていました。ひもづけていくことが

できる。たとえば、ビルオーナーは大切な検査済証や竣工図などの書類を紛失し、困るケースが数多くあり、

将来にわたり活きた状態で情報を管理する方法に悩んでいます。今回のサービスを利用し、クラウド上にアップロードして

おくことで、将来にわたって情報の有する設計者との間に

ことなく安全に保管し、経営資源として建物をフルに活用することが

できます。「BEAMap®」も建替えを検討される際などに活用いただくことが可能です。資料データも全国をカバーするとともに、特に

オフィスビル建設などでは効果を発揮しやすい仕様となつています。

属人的な作業はヒューマンミスが起こりやすく、また煩雑な作業で多くの時間を費やしてしまいます。それらを解消し、ビルの管理運営や新しく建設に関わる人たちにより付加価値の高い作業を

してもらうことができるように考えています。

建物を通じた挑戦を促進 他社との連携も積極的に 「BEAMap®」は、「プロフェッショナルには作業からの解放を!」、「設計業界と不動産業界にWIN-WINを!」、「適切な投資で街のにぎわいを!」、「すべての人に建築の楽しさを!」という4つのビジョンを掲げられています。最後の「建築の楽しさ」という点は、このサービスが幅広い人の視野に捉えていて、非常にユニークに感じました。この狙いや意図について教えてください。

木下 これまでビルオーナーと専門的知識を有する設計者との間に



360度写真で建物情報にアクセス紛失に煩わされる

木下 この点は当社でも設定するにあたって悩みました。ただ、より多くの人に活用してもらいたく、たとえば都市部に比べて経済規模が小さい地方都市で頑張っている人にも使ってもらいたいという想いから、この価格帯に設定しました。発表直後から引き合いをいただいております。お返しに、建築・不動産業界はもちろんですが、他業界からも関心をいただいております。



木下 今回の事業は、これまで以上に、他社との連携も積極的に進めたいと考えています。b-platform®は、プロフェッショナルには作業からの解放を!、設計業界と不動産業界にWIN-WINを!、適切な投資で街のにぎわいを!、すべての人に建築の楽しさを!という4つのビジョンを掲げられています。最後の「建築の楽しさ」という点は、このサービスが幅広い人の視野に捉えていて、非常にユニークに感じました。この狙いや意図について教えてください。

木下 これまでビルオーナーと専門的知識を有する設計者との間に、安全に保管し、経営資源として建物をフルに活用することができるとともに、特にオフィスビル建設などでは効果を発揮しやすい仕様となつています。属人的な作業はヒューマンミスが起こりやすく、また煩雑な作業で多くの時間を費やしてしまいます。それらを解消し、ビルの管理運営や新しく建設に関わる人たちにより付加価値の高い作業をしてもらうことができるように考えています。建物を通じた挑戦を促進 他社との連携も積極的に 「BEAMap®」は、「プロフェッショナルには作業からの解放を!」、「設計業界と不動産業界にWIN-WINを!」、「適切な投資で街のにぎわいを!」、「すべての人に建築の楽しさを!」という4つのビジョンを掲げられています。最後の「建築の楽しさ」という点は、このサービスが幅広い人の視野に捉えていて、非常にユニークに感じました。この狙いや意図について教えてください。

木下 これまでビルオーナーと専門的知識を有する設計者との間に、安全に保管し、経営資源として建物をフルに活用することができるとともに、特にオフィスビル建設などでは効果を発揮しやすい仕様となつています。属人的な作業はヒューマンミスが起こりやすく、また煩雑な作業で多くの時間を費やしてしまいます。それらを解消し、ビルの管理運営や新しく建設に関わる人たちにより付加価値の高い作業をもらうことができるように考えています。建物を通じた挑戦を促進 他社との連携も積極的に 「BEAMap®」は、「プロフェッショナルには作業からの解放を!」、「設計業界と不動産業界にWIN-WINを!」、「適切な投資で街のにぎわいを!」、「すべての人に建築の楽しさを!」という4つのビジョンを掲げられています。最後の「建築の楽しさ」という点は、このサービスが幅広い人の視野に捉えていて、非常にユニークに感じました。この狙いや意図について教えてください。

木下 これまでビルオーナーと専門的知識を有する設計者との間に、安全に保管し、経営資源として建物をフルに活用することができるとともに、特にオフィスビル建設などでは効果を発揮しやすい仕様となつています。属人的な作業はヒューマンミスが起こりやすく、また煩雑な作業で多くの時間を費やしてしまいます。それらを解消し、ビルの管理運営や新しく建設に関わる人たちにより付加価値の高い作業をもらうことができるように考えています。建物を通じた挑戦を促進 他社との連携も積極的に 「BEAMap®」は、「プロフェッショナルには作業からの解放を!」、「設計業界と不動産業界にWIN-WINを!」、「適切な投資で街のにぎわいを!」、「すべての人に建築の楽しさを!」という4つのビジョンを掲げられています。最後の「建築の楽しさ」という点は、このサービスが幅広い人の視野に捉えていて、非常にユニークに感じました。この狙いや意図について教えてください。